

ホームページのアクセス制御 (5)

． `htaccess` はUNIX環境で簡単にアクセス制御できますが、アクセス制御はディレクトリ単位となります。アクセス制御レベルを考慮してディレクトリ構造を作成すれば問題ないのですが、実際にはデータとして同じ系統のものであっても、どうしてもアクセス制御のレベルを変えたいというものが出てきます。その場合どうするかなのですが、アクセスレベルの考え方を再検討する、細かくディレクトリを分けるなどありますが、今回は、別のプログラムを利用するという方法を説明します。

Web上で利用できるプログラムとして、JavaやCGI、Perlなどがあります。Javaは一般的なブラウザで利用することができ、処理はブラウザで行うことになります。ブラウザで処理されるためWebサーバには負担はかからないのですが、今回のようにユーザパスワードの処理はサーバ上のデータを利用するのであまり向いていないと考えられます。それに対してCGIは、サーバで動作する分いろいろなことができ、掲示板などに利用されますが、一般的なプロバイダでは使用を許可していないところが多く、個人で利用することはできないこともあります。社内イントラネットでの利用には問題ありません。そこで実際に作成したパスワードチェックプログラムについて説明します。

実際のプログラムの処理は3つに分かれます。まず1つがユーザパスワードの設定です。これはもちろん管理者が設定するもので、ユーザ名と初期パスワード、アクセスレベルを設定します。ここで作成したユーザパスワード設定ファイルはWebサーバ上に保管されます。ファイル構造としては、キーとなるユーザ名、パスワード、アクセスレベルの3つが主で、今回作成したものはこれに最終アクセス時間を保管することができるようになっていました。ここで保管するパスワードはもちろん暗号化されているので、ファイルの中を見ることができても、パスワードを調べることはできません（パスワードを見ることはできないのですが、アクセスレベルはそのまま入っている）、ファイルにアクセスできればアクセスレベルを変更することはできてしまう可能性はあります）。ここで1つ、CGIにはデータを暗号化するコマンドは存在するのですが、暗号化されたものを複合（元に戻す）コマンドはありません。確かにパスワードチェックには必要ないのですが（説明は後で）。次の1つは、パスワード入力で、実際にホームページをアクセスする場合に最初に起動させるものです。ユーザとパスワードを入力して「OK」を入力することによって、データはサーバへ送られます。サーバでは、パスワードファイルの中からキーであるユーザ名を検索して、（暗号化された）パスワードを読み出します。入力したパスワードを暗号化し、パスワードファイルの内容と比較してパスワードがあっているかをチェックします（複合化できないので、暗号化したもの同士を比較します）。問題なければアクセス時間を書き込み、最初のページの表示に移り、問題があれば、エラーを表示します。このとき、入力したユーザ名とパスワードを、端末ごとにcookieにデータを保持します。1度パスワードを入力した後は、このcookieのデータを利用してパスワードチェックします。そしてもう1つがページを開けようとするたびのパスワードチェックです。ページのリンクがあって別のページやアプリケーションファイルなどを開ける前にパスワードが入力されているかをチェックします。チェックは、はじめにパスワードを入力したときと同じで、問題がない場合のみオープンすることができます。（次回に続く）

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 3月15日号

特集 3G携帯の条件

→小さい国内市場の中で進んできた携帯電話、第3世代(G3)から世界へ広がる。国内メーカーで争ってきたものが、一気に海外メーカーとの相互市場が形成される。

解説 UWBからWireless USBへ パソコンのケーブルを断つ

→パソコンなどのインターフェースとして利用が拡大してきたUSBが無線化する。使われる伝送技術はUWB(ultra wide band)。3mの距離で伝送速度は480Mbpsと有線のUSB並み。ドライバは現在のUSBと同じでそのまま移行することができる。セキュリティを考慮して新しいインターフェースを構築する。

○日経パソコン 3月15日号

特集 テレビパソコン活用大全

→これまでは写るだけだったパソコンのテレビ機能。今のテレビパソコンは、これまでのテレビやビデオデッキ、パソコンにはない便利さと楽しみがある。テレビの番組をとったり、見たり、編集したり、ネットワークで共用したり。便利な機能や使いこなしのノウハウを公開。

特集 てきぱきファイル整理術

→覚えていてもすぐに忘れてしまうファイルの中身。大容量になってより一層ゴミ箱になってしまいそうなディスク。ファイリングソフトやアルバム整理ソフトなどを利用して整理したいがどうすればよいか。

特集 ネット詐欺の全貌

→ネット詐欺として主なものは、「架空請求」、「出会い系勧誘」、「ギャンブル勧誘」、「ねずみ講」勧誘など。そのだましのテクニックを紹介。

○DOS/V magazine 4月1日号

特集 PCホスピタル 春の総回診

→読者からの1200件の質問の中から選んだ119件。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに分けて、登場回数が多く、一般性・普遍性の高いものを抽出。